

## ニコニコ BOX

### ニコニコ BOX の意義

ニコニコ BOX は、会員の喜び事、祝い事あるいは、ちょっとしたしくじりなど、身の回りの出来事や近況披露、お礼や感情表現など様々な理由を付けて、会員が自発的に拠金をするもので、別に何の規定もあるわけではありません。要するに、ニコニコ BOX の名が示す通り、拠金をする会員もニコニコしながら拠出し、集まったお金は、クラブの奉仕活動などに使用します。金額については、善意のお金ですからいくらでも良いのですが、喜びの大きいときは相当多額のニコニコもあります。多くの会員からいろいろの理由で何回も拠金してもらおうのが、ニコニコ BOX 本来の姿といえましょう。

### ニコニコ BOX の原型、Fine Box は罰金箱？

ただし、ニコニコ BOX というのは世界的な慣例ではありません。世界中どこの国にもあるというものではないのです。アメリカを始め諸外国にはニコニコ BOX に類するものとして Fine Box と Chest Box があります。ロータリーが創設されて間もなくの明治 38 年（1905）第 3 回例会の時に、欠席、早退者は 50 セントの罰金を科す規定が採用され、それを自主的に投入する罰金箱（Fine Box）が設けられました。Chest Box は目的を定めた募金箱ですから、目的を定めずに募金をする日本のニコニコ BOX とは趣旨が異なります。奉仕活動をするための資金集めは、会員の了解を得た上で目的を定めて、その目的のために帽子を回すのが諸外国のやり方ようです。

### 日本におけるニコニコ BOX の由来は？

日本で、ニコニコ BOX の慣例ができたのは、昭和 10 年（1935）のことでした。関東大震災の被災孤児たちを東京ロータリークラブの人たちが東京ロータリーホームという孤児院で世話をしていましたが、その子供たちを当時オープンした多摩川園という遊園地に連れていくための資金を集めるために、会員の羅紗問屋 上村伝助商店の筆頭番頭であった関幸重という人が一計を案じ、ありあわせの段ボール箱を持って、軽妙洒脱に面白おかしく話をしながら例会場を回ってお金を集めたのが最初という説や、昭和 11 年（1936）大阪 RC が仏頂面で罰金を出すような名称は好ましくないので、ニコニコ箱と呼ぶように提案し、以後我が国ではニコニコ箱やスマイリングボックスと呼ばれ、投入する名目もニコニコに値する会員の慶事を他の会員にも共に喜んで貰うという趣旨に変遷したとされています。

### ニコニコ BOX 会計の用途は？

ニコニコ BOX 会計は、会員が受益者とならない社会奉仕、国際奉仕委員会及び特定分野の委員会費用であり、主として団体奉仕活動の資金として支出されるものです。したがって、会員のために支出されるものではないことを弁えておくべきです。

### ニコニコ BOX メッセージの紹介について

丹治年度では、ニコニコ BOX 本来の意味、相応しいメッセージの例などを絶えずアナウンスするとともに、発表順番はロータリー歴の浅い会員を優先し、例会で発言機会の多い会長、幹事のメッセージは割愛することを基本方針として掲げております。

（文責 丹治正博）